



〒北町社会福祉協議会  
〒北町子育て支援センター  
熊本県天草郡〒北町志岐32番地3  
TEL (0969)31-1365  
FAX (0969)31-1365

開設日 月～金の毎日（祝日を除く） 対象 子育て中の保護者と子ども  
子育て中のママのみ  
マタニティママ  
開設時間 午前9時30分～午後3時 利用料 町内 100円  
町外 200円  
場所 〒北町新ふれあい館  
＊ お悩みやご相談があるときは、お気軽にお電話もしくはご来館ください



支援センターの公  
式LINEの登録をお  
願いします♪



ID:574vnugv



## 9月の行事予定

今月は新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、**行事を中止**します。今後の状況次第で来月の行事開催の有無を決定し、情報紙やLINEでお知らせいたします。また、例年9月は「7・8・9月生まれの誕生会」を開催しておりますが、来月以降で開催をしたいと思います。なお、行事はありませんが開所しています。感染対策をされたうえで遊びに来てください♪

## お知らせ

しばらくの間〒北町外の方のご利用を控えていただくようお願いしています。状況が変わり次第、この情報紙やLINEでお知らせいたします。なにかご相談などあれば電話やLINEで連絡いただくと幸いです。

## はじめまして



ばいばい★

## 8月のクッキング



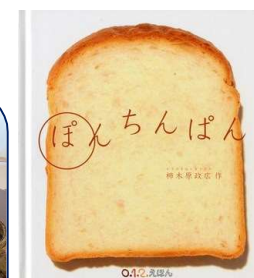
たくさん包みました！

手作り本格ぎょうざ  
きゅうりたっぷり棒棒鶏  
熊本名物太平燕  
ごはん

## えほんのしょうかい

## ぽんちんぱん

作：柿木原政広  
出版社：福音館書店  
価格：¥880



食パン、あんぱん、ロールパンなど子ども達の好きなパンがでてきます。リズムカルな言葉が楽しく、赤ちゃんも楽しめる1冊です。

## サポート事業を実施しています

赤ちゃん連れで出来ないことをしたいときなどに、支援センターでお子さんをお預かりします！お気軽にご利用ください♪

対象：町内に居住されている親子  
利用料：1時間100円  
(2時間くらいまで)

## ハンドメイド

ママ達の作品

クラフトバンドを使用して小物入れやバッグを作りました！



## 育児情報

## 乳幼児期の他者との関わり

最初は身近な大人（親など）との関わりが中心だった赤ちゃんですが、発達とともに人間関係も変わっていきます。もちろん生まれもった性格や発達の度合いに個人差はあるので、大人が仲介しながら関わり方を学んでいきましょう。

乳幼児期の愛着関係の形成は、これからの人間関係の基盤となるものです。目と目を合わせてスキンシップをし、まだ話が出来ないときにも声をかけましょう。赤ちゃんが発するサインに敏感に反応し、赤ちゃん自身の「なにかあったときに助けてくれる人がいる」という安心感を育むためには必要なことです。

また、子どもを“見守る”ときに大切にしたいのは、子ども自身が主役であることです。子どもにも気持ちがあり、その子自身がどうしたいかを大切にしたいですね。

## 他者に関わるための準備

### 0～1歳

親や保育士など大人と遊ぶ時期です。同じスペースの中に子どもがいてもそれぞれ違うことをして遊びます。

この時期はまず、大人との関係づくりに重点を置いて、愛着関係をしっかりと築くことが大切です。

1歳を過ぎると他の子のようなすを眺めたり、使っているおもちゃが気になる時期です。友だちの存在を意識しますが、あくまでも遊びの中心は自分の興味のあるものなので、友だちと遊ぶのは難しいです。



## 他者との関わりが増え始める

### 2～3歳

友だちと同じ場所で遊びだし、友だちの様子を観察しています。一見、一緒に遊んでいないようでも友だちへの関心を高めている時期です。

この頃は、自我が芽生えやりたいことがはっきりしてきますが、まだ相手に上手に気持ちを伝えたりルールを守ったりすることが難しく、トラブルが起きることもあります。そのときには近くの大人が両者の気持ちを汲み取り、言葉にすることで気持ちが落ち着くことがあります。

トラブルを経験していく中で、人との距離感や相手がどのようなことで怒るのかを学んでいきます。ときには手助けをしながら、見守りましょう。



## 社会性が育ち始める

### 4歳～

身近な人の気持ちがわかるようになり、思いやる心が芽生えてくる時期です。大人より友だちと遊ぶことが楽しくなってきます。また、友だちに意識がいくようになったからこそ、競争心や思いやりの気持ちが芽生えます。

この頃は、自我がより発達し自分の主張がしっかりとあるため、トラブルが起きたときになだめるだけでは納得してくれないことが増えてきます。一方的に善し悪しを決めつけず、まずは子どもの話に耳を傾け、気持ちを聞いてみてください。子ども自身が自分の気持ちに折り合いをつけるきっかけがみつかるよう、気長に見守りましょう。

